

令和元年度 中信地区学校図書館教育研究会（木曾会場）報告

木曾支部 吉沢一夫

1 研究テーマ

中信地区学校図書館教育研究大会テーマ

「自ら学び、豊かな心を育てる図書館教育はどうあったらよいか」

福島小学校図書館教育部会研究テーマ

「図書や図書館の利用を通しての考える力を高める授業づくり」

2 主催 長野県図書館協会 同協会小・中部会

3 日時 令和元年 10月 2日（水） 12:10～16:50

4 会場 木曾町立福島小学校 木曾町図書館 ※ 参加者人数 78名（主催者・来賓5名 郡外22名 郡内51名）

5 後援 長野県教育委員会 木曾町教育委員会 木曾郡学校長会 木曾教育会

6 日程

	内容・場所	福島小学校	木曾町図書館・木曾町文化交流センター
(1)	受付	12:30～12:50	12:10～12:30
(2)	授業説明	13:00～13:10	12:30～12:40
(3)	公開授業	13:20～14:05	12:50～13:35
(4)	授業研究会	14:15～15:00	13:45～14:40
			(研究会後、福島小学校へ移動)
(5)	開会行事	15:10～15:20	福島小学校体育館
(6)	講演会	15:20～16:40	〃
(7)	閉会行事	16:40～16:50	〃

7 公開授業・授業研究会

会場	授業 学年	教科「単元名」 (授業会場)	授業者	指導者	研究会進行 (研究会場)
福島 小学校	2年	国語 「秘密の本を紹介しよう」 ～シークレットブック～ (2年2組教室)	山口亜弥教諭	中信教育事務所 古旗 明指導主事	北原淳子教諭 (視聴覚室)
	6年	社会 「3人の武将と天下統一」 (6年教室・図書館)	岩田 祥教諭	総合教育センター 宮下正史指導主事	向山 悌教諭 (図書館)
木曾町 図書館	3年	総合的な学習の時間 「“まちとしょ”へ行こう」 (木曾町図書館)	傳田哲也教諭	中信教育事務所 三浦克友指導主事	山名博夫教頭 (2階大会議室)

8 講演会

演題 「私の絵本と旅」

講師 絵本作家 小林 豊 氏

<プロフィール>

1946年、東京に生まれる。立教大学社会学部卒業後、イギリス留学中に画家を目指す。1979年、日本美術展覧会に初出品で入選。1983年には「上野の森美術館」特別優秀賞を受賞した。1970年代初めから80年代初めにかけて中東やアジア諸国をたびたび訪れ、その折の体験が作品に大きな影響を及ぼしているとされている。世界を旅した経験を子どもたちに届けたいとの思いが強く反映されている彼の絵本は、日本のみならず世界的にも高い評価を受けている。



内戦の続くアフガニスタンの現実を知ってもらいたいとの思いから、ノンフィクション作品『なぜ戦争はおわらないのかーぼくがアフガニスタンでみたことー』を執筆。この本をきっかけとして、『せかいいちうつくしいぼくの村』（ポプラ社、1995年）、『ぼくの村にサーカスがきた』（ポプラ社、1996年）、『せかいいちうつくしい村へかえる』（ポプラ社、2003年）といった作品がうまれた。その他著書として、『えほん北緯36度線』（ポプラ社、1999年）、『ぼくは弟と歩いた』（岩崎書店、2002年）、『クラウドディアのいのり』（ポプラ社、2008年）、他多数。

『ぼくの村にサーカスがきた』が第43回青少年読書感想文全国コンクール課題図書に指定された他、『せかいいちうつくしいぼくの村』と『ぼくは弟と歩いた』シリーズは、それぞれ小学4年生の国語の教科書に掲載された。

9 まとめ

上記のように中信地区図書館大会研究テーマの下、開催校である福島小学校図書館教育部会のテーマを掲げ、3学級において授業公開を行った。2年生、6年生は自校の図書館および図書を活用しての授業、3年生は近くにある木曾町図書館を会場にしての授業を公開。子どもたちの考える力を高めるための主体的な学習のあり方について提案した。特に公共の図書館を授業で活用していくことの可能性について新たな視野を広げていく上で、一般の利用者もいる図書館での授業公開は意義深いものとなった。授業研究会では参観者から子どもたちの学びの具体的な姿や授業のあり方について多くのご意見をいただくことができた。指導を仰いだ3名の主事先生方からは、新学習指導要領に基づく考える力の育成やそれに伴う図書館の果たす役割等についてお話いただき、得るものの大きい授業公開であった。

引き続き開催された講演会では、絵本作家である小林豊先生から、「私の絵本と旅」と題して、先生の豊かな海外経験から生まれる世界や、絵本作りへの思いについてご講演いただいた。「五感で捉えることの大切さ」や「自分の声を取り戻す」ことの大切さを教えていただき、終盤は参加者からの質問にも応じていただく形で、平和の尊さを考え合う貴重な時間を過ごした。

本年度は大会を半日開催として、多くの方がより参加しやすい形を模索したのも新たな提案の一つであり、参観者からも好評であった。

長野県図書館協会宮尾小中部会長、木曾町教育委員会山瀬教育長のご臨席を賜り、中信地区教職員、学校司書が一堂に会して図書館教育のあり方について学び合う貴重なひとときとなった。